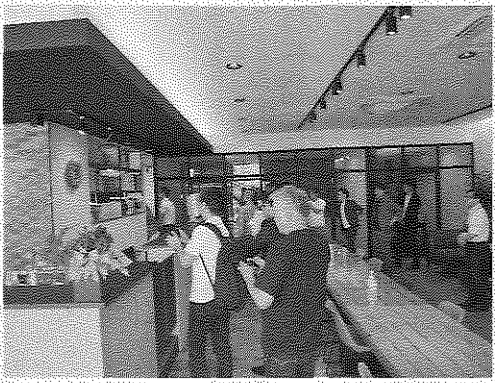
滋賀県No.1リフォーム会社を視察

新築・不動産とのシナジー効果も

日本優良ビルダー普及協会

日本優良ビルダー普及協会（JGBA、東京都、田島亮代表理事）は10日、滋賀県のリフォーム№1の匠工房（滋賀県野洲市、室田智之社長）の視察ツアーを実施し、22人が参加した。


視察した匠工房の湖東湖北店

匠工房は、湖東湖北店（彦根市）、八日市店（東近江市）、水口店（甲賀市）、草津栗東店（草津市）、湖西店（大津市）など滋賀県内に10拠点を持ち社員数120人、年商40億円を上げている。

ツアーでは湖東湖北店、水口店などを視察し、同一店舗でリフォーム、新築・不動産など事業を行い、例えば中古不動産の売買からリフォームにつなげるなど、シナジー効果を追求している状況を見た。

店舗は異業種の居抜き物件などを使い、幹線道路沿いの立地が良い場所に設け、車で30～40分くらいの距離から集客している。

集客はチラシのほか、店舗によってはタウン誌、インスタグラムなどのSNSを活用。見学会などの予約は、ほぼSNSで集客できるという。

建築はサービス業という考え方で、CS部員という現場を回る専門の担当者を置き、クレームなどは営業を介さずに直接会長に報告が行く会長直括組織として運用。ランダムに現場を訪問することで緊張感が生まれ、クレーム削減につながっている。入金遅れなどについて、関孝治会長は「何か問題があるから遅れるので、必ず私に直接電話をさせる」と話し、入金管理の徹底が完工粗利にも影響し、粗利向上が顧客満足度の向上にもつながるという考え方だ。

また、同社では7年前にテナント事業を開始。店舗の設計、施工の部署を設け、前期は14人体制で125件、6億7000万円を売り上げた。コロナ禍で店舗改装などが落ち込んだ時期もあるが、主要駅前のテナントとのつながりを作り、地域活性化にもつなげている。

JGBAでは、会員ビルダーなどへ視察会をテーマを設けて定期的に開催。リアルな情報発信と交流の場として、現在187社が会員になっている。

木霊祭り、コロナ5類移行で再開

三浦製材

三浦製材（京都府亀岡市、三浦享浩社長）は4日、同社工場で木霊祭り（こだままつり）を執り行った。

新型コロナウイルス感染症の影響で休止していたが、同ウイルスの感染症法上の5類移行などを受けて再開。今回が5回目となる。

当日は、齋藤一義亀岡市市議会議員、山本由美子同議会議員、山脇安三亀岡市森林組合組合長など25人余りが出席。素戔嗚神社の宮司が神事を進めるなか、出席者らは山や森の神に感謝の祈りを捧げた。

議員や取引先など25人余りが出席した

三浦社長は「現在、山の荒廃が進んでいるのは山や木々に対しての感謝の気持ちが薄いからではないかと思う。そもそも山や木は、私たちの暮らしになくてはならない存在だ。私たちは木の命をいただいていることを再認識し、山に感謝の気持ちを表す必要がある。今回の木霊祭りは山や森、木々に対して感謝と祈りを捧げるもので、普段向き合っている木材に対して、今以上に感謝の気持ちを抱くきっかけになれば良いと思う」と話した。

木霊祭りは、亀岡市木材協同組合（京都府亀岡市、小川宜久代表理事）が約30年前から10年に一度のペースで開催している式典。会員でもある三浦製材は、山や木材に対して感謝の気持ちを表したいとの思いで、10年前から毎年、同社独自の木霊祭りを執り行っている。

吉野
株式会社
櫻井
EW
中断面
TEL0746-32-0563
FAX0746-32-8502

会社探訪

応じた納入で業容拡大

紀洋木材（大阪）

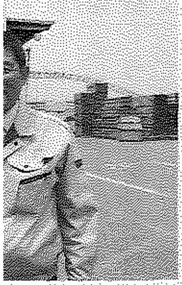
から工事まで

紀洋木材（大阪市、桑原健郎社長）は今年、創業70周年を迎えた納材問屋で、2023年3月期は47億9770万円（前期比24・5％増）とウッドショックの影響もあり、大幅に売り上げを拡大し

だったが、桑原社長は「マンションは3月末竣工の工程で建てることが多く、前年12月15日を過ぎた辺りで手持ちの仕事が急激に落ちる不需要期があった」と振り返る。

仕事の平準化に取り組むなかで、地盤、基礎工事で矢板、杭、足場板などを納めた後、型枠、桟木などを納入。躯体ができてからは内装に使うLVLや石膏

つの現場の多くの工程にかかわり、タイムリ



1000坪の置き場と倉庫を持ち、ここで現場ごとに必要な資材をアッセンブルして納入する。特にマンション幅木では高いシェアを持ち、「関西のマンションの幅木では半数以上が当社の材」と桑原社長。幅木を現場ごとにアッセンブルして納入するので、内装工事業者の利便性が高い。

という。

納入先は近畿圏を中心に、広島、岡山、名古屋、四国など広域化している。発注先の職人が広域で仕事をしているため、納入先も広がっている。

自社便のほか、傭車も使いながら、現場配送を行っている。

従業員は27人。日本語学校を出たベトナム人やバングラデシュ人なども4人いる。社員とコミュニケーションをとりながら仕事ができるよう、社内のレクリエーションなどにも力を入れている。

楽しい雰囲気は、70周年式典でも社長には秘密でバースデーケーキを用意し、動画を撮るなどして盛り上げた

新刊紹介

木・希・輝 感謝の旅日記

青木行雄著

日青木材（東京都）の青木行雄社長は1日、「木・希・輝 感謝の旅日記」（写真）